

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	にしそのぎ 地域高規格道路 西彼杵道路 こむかえ 一般国道206号 小迎バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県西海市西彼町小迎 至：長崎県西海市西彼町大串	延長	6.1km		
事業概要	国道206号小迎バイパスは、地域高規格道路である西彼杵道路の一部を担う延長6.1kmの道路であり、国道206号の交通混雑の緩和及び交通隘路区間の回避を目的とするバイパス事業である。				
H13年度事業化	都市計画決定 なし	H13年度用地着手	H13年度工事着手		
全体事業費	約216億円	事業進捗率	87%	供用済延長	0.3km
計画交通量	12,500台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 54.9	総費用 (残事業)/事業全体 5.6/233億円 (事業費：4.8/232億円) (維持管理費：0.81/0.85億円)	総便益 (残事業)/事業全体 307/307億円 (走行時間短縮便益：256/256億円) (走行経費減少便益：36/36億円) (交通事故減少便益：15/15億円)	基準年 平成22年	
事業の効果等	・産業、経済の発展（長崎市と佐世保市の連携強化） ・県土の均衡ある発展と活力ある地域づくり（高規格幹線道路と併せた循環型ネットワーク）				
関係する地方公共団体等の意見	・長崎市、西海市、時津町、長与町から構成される西彼杵道路建設促進期成会より毎年整備促進の要望が行われている。				
事業評価監視委員会の意見	・事業評価監視委員会からは、事業を継続し、早期完成を図るよう意見書が提出された。 ・長崎県知事の方針：審議結果及び意見を踏まえ、事業継続とした。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・平成17年4月に西彼町・西海町・大島町・崎戸町・大瀬戸町5町が合併し西海市となり、旧5町の連携を活かしたまちづくりを進めている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	・平成21年度末までの事業進捗率は87%。現在までに約0.3kmを部分供用しており、残りの約5.8kmについて順次工事を進めている。引き続き工事を進め、平成24年度の事業完成を目指す。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・補償価格の不満により一部用地交渉が難航したことにより事業の進捗が遅れていたが、用地取得が完了し、今後、平成24年度の事業完成を目指す。				
施設の構造や工法の変更等	・一部地すべり地帯を通過しており、想定以上に地質が悪く、その対策のため、全体事業費が約211億円から約216億円へ増額。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性及び残事業量を考慮した場合、事業継続が妥当と判断される。				
事業概要図	<p style="font-size: small;"> 全体計画 L=6,100m W=7.0(10.5)m 起点 供用済L=300m 終点 至長崎市 至佐世保市 大村湾 大串 新西海橋 小迎IC 202号旧坂瀬川橋 西海市 (注)大瀬戸西(旧線) </p> <p style="font-size: x-small;"> 凡例 供用中 (点線) 事業中 (斜線) 再評価箇所 (点線+斜線) うち供用中 (点線+斜線+点線) </p>				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。